

行政サービス・データ連携モデル  
標準ガイドライン群 ID：1016-X  
※正式版公開時に枝番 X を指定

## 報告書・会議資料等データモデル

(β版)

2021年6月4日

### 〔キーワード〕

報告書、会議資料

### 〔概要〕

行政機関で報告書や会議資料等の情報を公開するときに参照すべき実践的ガイド。このガイドに従いデータ設計を行うことで、報告書、会議資料の参照が増え、調査研究や政策取りまとめ等の広報を、広範に行うことができます。

## 改定履歴

改定年月日	改定箇所	改定内容
2021年6月4日	-	・ $\beta$ 版を公開

## 目次

1 背景と課題	4
1.1 背景	4
1.2 課題	4
1.3 投資対効果	4
2 目的と概要	5
2.1 目的	5
2.2 概要	5
2.3 データの構造	6
3 データ	8
3.1 概要	8
1) カタログ情報（会議情報）	8
2) データセット	8
4 事例	10
4.1 資料	10
1) カタログ	10
2) データセット	10
4.2 会議資料	11
1) カタログ	11
2) データセット	11
5 解説	13
5.1 データ標準	13

## 1 背景と課題

### 1.1 背景

行政機関では審議会や調査研究など多くの報告書が作成されています。これらの報告書は世界の最先端を調査したもの、国の基本的な展望を示すものなど、社会的に価値の高いものが数多くあります。また、審議会、研究会などの会議で使用されている資料も最新動向などが整理されている資料や、政策生成過程の資料が公開される等、社会的に非常に価値の高い情報があります。

一方、報告書や会議資料の中にはその存在を見つけることが難しいものもあり、有益な情報があるにもかかわらず活用できていない状況でした。また、報告書を見つけた場合にもタイトルがわかりにくかったり、概要や目次が公開されていなかったりするために、必要な情報にたどり着けないこともあります。

更に、最近の Web サイトはパーマリンク<sup>1</sup>を活用していることが多く、検索で当該資料を見つけても、その資料がどの会議で提示されたのかわからない事例も増えています。

### 1.2 課題

例えば、国会図書館に納本されている報告書等はデータベースで検索可能ですが、概要情報等がないため必要な報告書等にたどり着けないことがあります。また、会議資料は、会議開催情報の Web サイトを見に行くか、検索サイトで検索するのが主な入手手段でした。

#### 利用者にとっての課題

- ・ 有益な報告書や資料があれば活用したいが、どんなものがあるかわからない
- ・ 概要情報がないため、中を見ないと必要な情報かどうかかわからない
- ・ 報告書が PDF で再利用ができない（特にデータ）

#### 行政職員にとっての課題

- ・ 担当部局内でも報告書が周知されず活用されていない場合がある

### 1.3 投資対効果

先進技術調査や海外事例調査を各企業でも費用をかけて行っていますが、類似の報告書から必要な情報を得ることで調査コストを削減することや、より高度な調査を行うことが可能になり社会全体のコストを軽減することができます。

---

<sup>1</sup> コンテンツにユニークにリンクし、将来にわたって変更されない URL

## 2 目的と概要

### 2.1 目的

報告書や会議資料の書誌情報を一定のデータ形式で公開し、再利用しやすくすることで、報告書の活用を促進し、政策の普及や先進情報の共有を図ることを目指します。また、重複調査の防止を図る等、社会全体でのコスト削減と調査予算の有効活用を目指します。

### 2.2 概要

各省庁の報告書情報は、国会図書館と政府のデータカタログサイトに登録することとなっていますが、二重の作業にならないように配慮する必要があります。

報告書の書誌情報を収集した部署が一括して登録する等の工夫が必要です。担当部門が個別に登録する場合にも本データモデルの書式を使うことで容易に登録できるようになります。

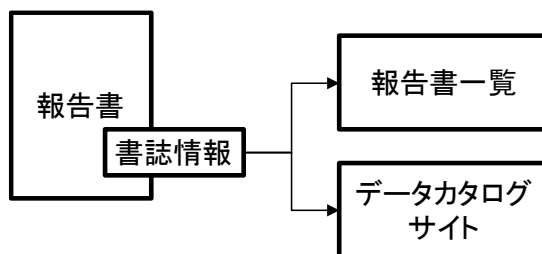


図 1 報告書の書誌情報の登録

会議資料は、当該会議開催情報のトップページに会議資料一覧として掲載するとともに、本データモデルに沿ったデータを政府のデータカタログサイトに載せることで、多くの人に利用してもらえるようになります。

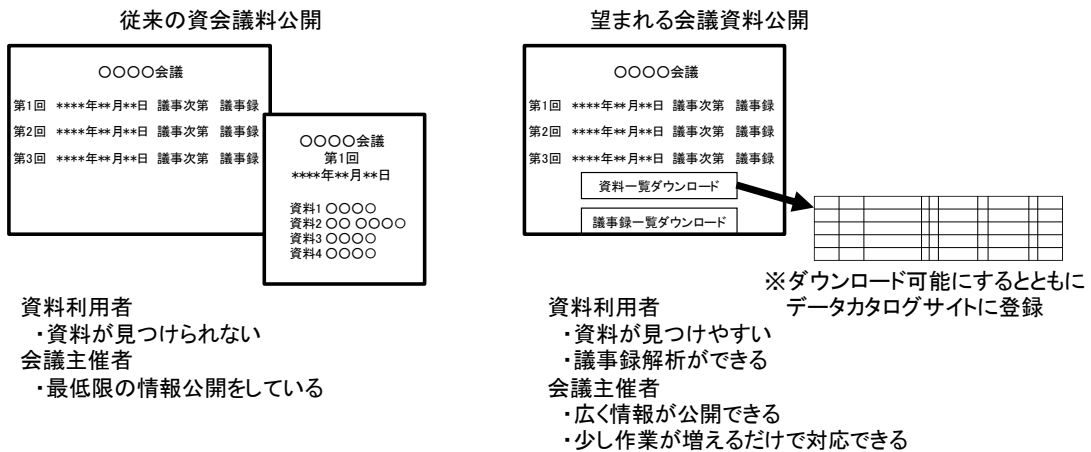


図 2 会議資料の公開

### 2.3 データの構造

データの構造は、データを収録しているカタログ情報とデータ本体、それに配布方法の情報により構成されます。

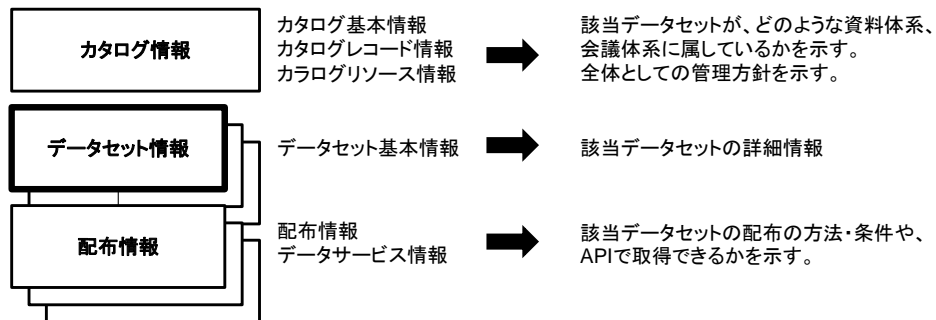


図 3 報告書などデータの構造

また、カタログの上位に更にカタログ情報が付く場合があります。

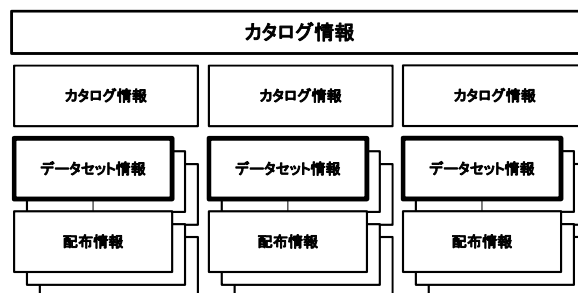


図 4 カタログの重層構造

このようにデータを構造化することで、以下のような情報管理ができるようになります。

カタログ情報：国勢調査

カタログ情報：2020年度調査

データセット：概要表；人口；・・・

カタログ情報：〇〇審議会

カタログ情報：第3回

データセット：資料1；資料2；資料3；・・・

配布情報：資料2は非公開

カタログ情報：〇〇辞典

カタログ情報：西日本編

データセット：大阪府概説；兵庫県概説；岡山県概説；・・・

配布情報：教育目的は無料

### 3 データモデル

#### 3.1 概要

報告書のデータモデルは、以下になります。

##### 1) カタログ情報

項目名	項目の説明
カタログ名	報告書や資料が収納されているカタログの名前（会議の名前）
カタログ内容	カタログの内容
カタログの主要トピック	カタログ内の主要トピックスを箇条書で記入
テーマ	カタログにテーマがある場合にテーマをタグとして記録
親カタログ名	上位のカタログがあるときに記入
子カタログ名	下位のカタログがあるときに記入
発行者	カタログ全体の発行者
更新日	カタログの更新日
言語	英字 3 文字コードで記入。JPN は省略可能

##### 2) データセット

項目名	項目の説明
ID	資料の ID
タイトル	資料のタイトル
サブタイトル	資料のサブタイトルがある場合に記入
バージョン	資料にバージョンがある場合に記入
説明	資料の説明
タイプ	テキスト、ビデオ、画像、その他、からタイプを選択
テーマ	日本標準産業分類大分類を選択
キーワード/タグ	キーワード/タグ
対象地域	対象となる地域を自由に記入
対象期間	対象となる期間を自由に記入
更新頻度	資料の更新頻度
フォーマット	DOC、PPT、PDF 等ファイルフォーマットの種類
作成者	受託者など、資料作成者名
関係者	協力者、監修者などを自由に記入
連絡先	担当部局、担当課の部局の連絡先
説明ページ URL	当該資料等を説明し、ダウンロードなども可能なページの URL
ダウンロード URL	資料のダウンロード可能な URL
データサービスの可否	API 等でのデータサービス利用の可否
エンドポイント URL	データサービスを使う場合の URL
エンドポイント説明	エンドポイントに関する解説
サイズ	資料のファイルサイズ
ライセンス	資料のライセンス条件
権利	資料の権利に関する内容



発行日	資料の発行日（西暦年月日とし、半角数字をハイフンでつなく）
更新日	資料の更新日（西暦年月日とし、半角数字をハイフンでつなく）
状況	ドラフト、パブリックコメント中、中間取りまとめ、最終報告書等
言語	英字 3 文字コードで記入。JPN は省略可能

## 4 事例

### 4.1 資料

資料集を作成する場合には、カタログ情報として資料集の情報を登録し、データセットで、カタログに含まれる個々のデータの内容を記述します。

#### 1) カタログ

項目名	項目の説明
カタログ名	コンポーネント集
カタログ内容	行政で簡単に使えるコンポーネントを掲載
カタログの主要トピック	コンポーネント
テーマ	デジタル・トランスフォーメーション
親カタログ名	デジタルトランス・フォーメーションガイド
子カタログ名	主要連絡先リスト
発行者	〇〇室
更新日	2020-08-10
言語	JPN

#### 2) データセット

項目名	項目の説明
ID	0812 d3456
タイトル	検索コンポーネント
サブタイトル	あいまい検索エンジン
バージョン	1.2
説明	検索コンポーネントの使用方法をガイドする
タイプ	テキスト
テーマ	
キーワード/タグ	検索
対象地域	
対象期間	
更新頻度	その他 (バージョンアップ時)
フォーマット	DOC
作成者	〇〇室
関係者	〇〇プランニング
連絡先	〇〇係
説明ページ URL	https://
ダウンロード URL	https://
データサービスの可否	可
エンドポイント URL	https://
エンドポイント説明	ユーザ ID が必要
サイズ	218KB
ライセンス	CC0
権利	

発行日	2020-08-10
更新日	2020-08-10
状況	利用可
言語	JPN

## 4.2 会議資料

会議資料の場合は、カタログ情報に会議情報を登録し、会議内の各資料についてデータセットに記録します。

### 1) カタログ

項目名	項目の説明
カタログ名	〇〇本部第〇〇分科会第〇会
カタログ内容	〇〇についての会議
カタログの主要トピック	〇〇
テーマ	デジタル・トランスフォーメーション
親カタログ名	〇〇本部〇〇分科会
子カタログ名	なし
発行者	〇〇室
更新日	2020-08-10
言語	JPN

### 2) データセット

項目名	項目の説明
ID	0812 M3456
タイトル	〇〇先進事例
サブタイトル	資料2
バージョン	
説明	先進事例に関する発表資料
タイプ	テキスト
テーマ	
キーワード/タグ	〇〇
対象地域	
対象期間	
更新頻度	
フォーマット	PPT
作成者	〇〇委員
関係者	〇〇連合会
連絡先	〇〇係
説明ページ URL	https://
ダウンロードURL	https://
データサービスの可否	
エンドポイント URL	
エンドポイント説明	
サイズ	218KB

ライセンス	
権利	資料の権利は資料作成者に帰属します
発行日	2020-08-10
更新日	2020-08-10
状況	
言語	JPN

## 5 解説

### 5.1 データ標準

報告書・会議資料のメタデータは、欧州の推進する ADMS<sup>2</sup>と W3C の推進する DCAT2.0<sup>3</sup>、schema.org (CreativeWorks)<sup>4</sup>との互換性を持ちつつ簡易なモデルとしています。

---

<sup>2</sup> <https://joinup.ec.europa.eu/collection/semantic-interoperability-community-semantic/adms>

<sup>3</sup> <https://www.w3.org/TR/vocab-dcat-2/>

<sup>4</sup> <https://schema.org/CreativeWork>